

キャプタン・ベノミル水和剤 キャプレート水和剤	取扱メーカー： 三井アグロ 原体メーカー： アリスタ LS, 住友化学
成分： キャプタン〔有機塩素系〕……………60.0% ベノミル〔ベンズイミダゾール系 PRTR・1 種〕…10.0% その他 PRTR 該当成分： 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩〔PRTR・1 種〕…1.4%	性状： 類白色水和性粉末 45 μm 以下 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- オーソサイド水和剤 80, ベンレート水和剤の項参照。
- 予防効果, 治療効果の持続性があり, 広範囲の病害防除に効果がある。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 病害体系防除に組み入れることにより耐性菌の回避が期待できる。
- 過度の連用はさけ, 作用性の異なる薬剤と輪番で使用する。
- ベノミル剤, チオファネートメチル剤耐性菌出現地帯では使用しない。

【薬効・薬害等の注意】……………

- ボルドー液, 石灰硫黄合剤などアルカリ性薬剤及びマシン油乳剤とは混用しない。
- 収穫間近での使用は収穫物に汚れを生じることがある。
- 適用作物（なし）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。なしは 6 月中旬以降に使用する。

【安全対策上の注意】……………

- 夏期高温時の使用はさける。
- 眼に対して強い刺激性があるので, 散布液調製時には保護眼鏡を着用し, 薬剤が眼に入らないよう注意。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し, 眼科医の手当を受ける。
- 共通注意事項 6, 街路・公園・堤とう等で使用する場合の注意事項を参照。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意。皮膚に付いた場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 魚類に影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。
- 蚕に対して影響があるので, 桑葉にかからないように注意。



【適用と使用法】.....

作物名	適用病害名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	キャプタンを含む 農薬の総使用回数	ペノミルを含む農 薬の総使用 回 数
きゅうり	灰色かび病	500～ 600 倍	100～ 300 ℓ	前日まで	3 回 以内	散布	5 回以内 (種子粉衣は 1 回以内)	4 回以内 (種子への処理は 1 回以内、は種後 は 3 回以内)
	炭疽病	600～ 800 倍						4 回以内 (種子粉衣は 1 回以内、は種後 は 3 回以内)
なす	灰色かび病	500～ 600 倍		収穫開始 3 日前 まで	1 回			6 回以内 (種子への処理は 1 回以内、灌注は 2 回以内、散布は 3 回以内)
トマト	灰色かび病 葉かび病	600 倍		前日まで	3 回 以内			
なし	黒星病	600～ 800 倍	200～ 700 ℓ	7 日前 まで	4 回 以内		9 回以内	6 回以内 (塗布は 2 回以内、 散布は 4 回以内)
	輪紋病	500～ 600 倍						
おうとう	灰星病 炭疽病	600～ 800 倍		14 日前 まで	2 回 以内		5 回以内	2 回以内